

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	348万台	530万台	66%	371万台	△23万台	94%
継続検査時等預託				333万台	△333万台	0%
引取時預託(後付預託を除く)	30万台	19万台	157%	50万台	△20万台	60%
合計(A)	378万台	549万台	69%	755万台	△377万台	50%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	14万台	14万台	102%	18万台	△4万台	79%
預託台数合計(A)+(B)	392万台	563万台	70%	773万台	△381万台	51%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,480円	6,550円	△70円	6,510円	△30円
エアバッグ類	2,470円	2,460円	10円	2,460円	10円
フロン類	2,070円	2,070円	0円	2,070円	0円
合計	11,020円	11,080円	△60円	11,040円	△20円

(3) 品目別の装備率

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	91%	94%	△3	90%	1
フロン類	95%	98%	△3	95%	0

(4) 金額

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	40,615百万円	60,128百万円	68%	81,008百万円	△40,393百万円	50%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	348万台	530万台	66%	371万台	△23万台	94%
継続検査時等預託				333万台	△333万台	0%
引取時預託	30万台	19万台	157%	50万台	△20万台	60%
合計	378万台	549万台	69%	755万台	△377万台	50%

(2) 金額

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	869百万円	1,263百万円	69%	1,736百万円	△867百万円	50%

預託金預り収入計

金額

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	41,484百万円	61,390百万円	68%	82,744百万円	△41,260百万円	50%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度預託実績を参考に69%としていた。しかし、第3四半期中の新車購入時預託台数の落ち込みにより、台数実績進捗率は、予算想定を下回った。
○再資源化等預託金預り収入の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度預託実績を参考に70%としていた。しかし、新車購入時預託台数が落ち込んだこと、及びASR単価が予算想定を下回ったことにより、再資源化等預託金預り収入の実績進捗率は、予算想定を下回った。

(※) 引取時預託(後付預託を除く)

引取業者引取台数に対する引取時預託台数(後付預託を除く)の比率が、予算想定を上回ったため(第3四半期実績11%、年間予算想定5%)、預託台数は年間予算想定台数を上回った。

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託
新車購入時預託台数は、前年度同期実績を下回った。
○継続検査時等預託
前年度で終了。
○引取時預託(後付預託を除く)
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している)。このため、引取時預託台数(後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は、前年度同期実績を下回った。

《参考》第3四半期における預託方法別のエアバッグ類・フロン類の装備率の実績

装備率	平成20年度3Q	
	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	16%
フロン類	99%	38%

【予算との比較】

同上。

【前年度同期実績との比較】

同上。

②特定資産運用収入－再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
7,161百万円	9,713百万円	74%	6,251百万円	909百万円	115%

【予算との比較】
想定通り。

【前年度同期実績との比較】
保有債券残高の積み上がりにより特定資産運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成20年度3Q末残高	平成19年度3Q末残高
7,760億円	7,514億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	285万台	370万台	77%	278万台	7万台	103%
エアバッグ類	99万台	128万台	77%	73万台	25万台	134%
フロン類	217万台	284万台	77%	208万台	9万台	104%

(2)品目別の平均単価

	平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a) - (c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a) - (b)		
ASR	6,130円	6,080円	50円	5,960円	170円
エアバッグ類	1,970円	1,940円	30円	1,910円	60円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3)金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
23,952百万円	30,927百万円	77%	22,306百万円	1,645百万円	107%

【予算との比較】

○払渡台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考に77%としていた。
○再資源化等預託金払渡支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に77%としていた。
よって、再資源化等預託金払渡支出の実績進捗率は、予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

払渡台数が前年度同期実績を上回ったことから、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《引取業者引取台数実績》

平成20年度3Q	平成19年度3Q
276万台	278万台

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
290万台	370万台	78%	289万台	1万台	100%

(2)金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
533百万円	607百万円	88%	472百万円	60百万円	113%

【予算との比較】

○払渡台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考に78%としていたため、台数実績進捗率は予算想定のとおり。
○一方、単価230円の払渡台数の比率が予算想定を上回ったため、情報管理預託金払渡支出の第3四半期までの実績進捗率は、88%となり、対年間予算想定進捗率78%を上回った。

【前年度同期実績との比較】

払渡台数が前年度同期実績を上回ったこと及び単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を上回ったことから、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成20年度3Q				平成19年度3Q	
	決算		年間予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	134万台	46%	244万台	66%	192万台	66%
230円	156万台	54%	126万台	34%	97万台	34%
合計	290万台	100%	370万台	100%	289万台	100%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
477百万円	664百万円	72%	216百万円	262百万円	221%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度実績等を参考に76%としていた。しかし、未払再資源化預託金等利息支払支出の実績進捗率は、予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

○平成20年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成19年度よりも高い。

適用利率	平成20年度払渡	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率
		平成19年度払渡	0.004%	0.380%	0.835%
		0.004%	0.380%	0.835%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

○利息を付す払渡台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

預託金払渡支出計

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
24,962百万円	32,197百万円	78%	22,994百万円	1,967百万円	109%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
110万台	139万台	79%	76万台	34万台	144%

(2)平均単価

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	差異(a) - (b)	決算(c)	(a) - (c)	
10,760円	11,360円	△600円	10,420円	340円	

(3)金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
11,804百万円	15,802百万円	75%	7,935百万円	3,870百万円	149%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
226百万円	340百万円	67%	78百万円	148百万円	291%

【予算との比較】

○輸出返還台数の第3四半期までの対年間予算想定台数進捗率は、前年度輸出実績等を参考に74%としていたが、台数進捗率実績は、予算想定を上回った。
○再資源化預託金等輸出返還支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に74%としていた。しかし、平均単価が予算想定を下回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出の実績進捗率は、予算想定を若干上回る程度となった。

【前年度同期実績との比較】

輸出返還台数及び単価が前年度同期実績を上回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

《参考》輸出返還台数実績

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成19年度	18万台	25万台	33万台	33万台	110万台
平成20年度	34万台	37万台	38万台		110万台

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、前年度実績等を参考に74%としていた。しかし、未払再資源化預託金等利息支払支出の実績進捗率は、予算想定を下回った。

《参考1》第3四半期における利息が付される輸出返還台数の実績

預託年度	平成20年度3Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	14万台	29万台	48%
平成17年度	59万台	70万台	84%
平成18年度	32万台	28万台	114%
平成19年度	4万台	9万台	39%
合計	109万台	137万台	79%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)年間予算において平成20年度に預託された自動車の輸出返還は2万台と想定。

なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《参考2》第3四半期における利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績

	平成20年度3Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
利息単価	¥208	¥248	84%

【前年度同期実績との比較】

○平成20年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成19年度よりも高い。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率
適用利率	0.004%	0.380%	0.835%	1.132%
	平成20年度輸出返還	0.004%	0.380%	0.835%
	平成19年度輸出返還			—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

○利息を付す輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

預託金輸出返還支出計

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
12,031百万円	16,142百万円	75%	8,012百万円	4,018百万円	150%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
303百万円	303百万円	100%	109百万円	195百万円	279%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
7百万円	7百万円	100%	1百万円	5百万円	514%

他会計への繰入金支出計

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
310百万円	310百万円	100%	110百万円	200百万円	282%

【予算との比較】

本年度の他会計への繰入金支出は、第1四半期の出えんで完了。

【前年度同期実績との比較】

《出えん等実績》

出えん等先	出えん等額(※)	
	平成20年度3Q	平成19年度3Q
資金管理人	-	-
指定再資源化機関	70百万円	-
情報管理センター	240百万円	110百万円
合計	310百万円	110百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
37,202百万円	48,602百万円	77%	30,589百万円	6,613百万円	122%

【予算との比較】

特定資産取崩収入の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、事業活動支出の予算想定から76%としていた。しかし、事業活動支出の実績進捗率が予算想定を若干上回っていることから、特定資産取崩収入の実績進捗率は、予算想定を若干上回った。

【前年度同期実績との比較】

事業活動支出の合計額が前年度同期実績を上回ったため、これらの支出の原資となる特定資産取崩収入は前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成20年度3Q			平成19年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
51,407百万円	71,358百万円	72%	98,499百万円	△47,092百万円	52%

【予算との比較】

特定資産取得支出の第3四半期までの対年間予算想定進捗率は、預託金預り収入等の予算想定から77%としていた。主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算想定を下回っていることから、特定資産取得支出の実績進捗率は、予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

継続検査時等預託が前年度で終了したことに伴い、預託金預り収入の資金管理人の金融機関口座への入金額が前年度同期実績を下回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。